

## 第 20 回政策推進会議報告

日 時 1月20日(月)9時30分～10時5分

場 所 4 - 1 会議室

出席者 19人

### 1 平成 26 年度主要取組項目(素案)からの追加・変更点について

企画財政局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 全体的に気づいた点があいくつもある。まず、改革改善項目の中には、長期的に見れば改善項目だが一時的には費用がかかるものがあり、費用面だけでは新規・拡充、改革改善の区分けがそぐわないものが生じていると感じる。費用がかからない項目でも、内容的には非常に未来志向で改善していくものもあり、表現の仕方を今後工夫していきたい。次に、新規・拡充項目と改革改善項目を並べて表示することで、新しい取組をするときの財源は既存事業等から捻出するというのを強く意識してもらっている。この意識は残しながら、もっと市民にわかり易く伝えていきたい。また、主要取組項目は、2,000 億にのぼる一般会計全体から見れば非常に限られた事業費であるが、平成 26 年以降には施策評価もスタートすることから、全体の主要な取組がどうなっているのか、わかりやすい発信の仕方を工夫したい。

### 2 尼崎市競艇事業経営計画について(資産統括局)

資産統括局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

・景気が少し上向きになっているが売上げへの影響はあるか。また、今回の計画は短期の計画ではあるが、長期の見通しを踏まえた点はあるか。

まず売上げについては、本場の売上げが激減しており、ここ数年、毎年 15%の割合で下がってきていたが、全国的には売上げの下げ止まり感がある。平成 26 年度は 12%、平成 27 年度以降は 6%程度の割合で減少するという収支見通しになっている。一方で、本場の売上げの減をカバーするほどではないが、センプルピア、ミニポートピアの売上げが伸びてきている。収支見通しに景気の動向は入れていない。

(市長) 長期の見通しに齟齬をきたさないよう短期の取組を進めなければならない。尼崎市には競艇事業と競馬事業があるが、現状では競馬事業のほうが危機的な状況にある。競艇事業からはまだ市に繰出しをしてもらっている状況なので、順番としては競馬事業を先に考えなければならない。競艇事業では、使用していない施設の撤去などを含め、いずれやらなければならないことを織り込みながら、今のファンにも喜んでいただけるような整備を強く意識している。また、様々な事態に備えて基金をしっかり積み、また、市に対して繰出しをするという 2 点を両立させることを計画に反映している。

・兵庫県市町競輪事務組合が解散したときのように、競輪の場合は 21 施行者だったが競艇は 2 施行者であるので、何か起こった場合の備えが必要ではないか。

今回の計画にそのような記載はないが、基金を積み立てる趣旨としては、そういったことも

将来的に想定しながらやっていくという考えだ。

(市長)第2 施行者である伊丹市では、競艇事業を重く位置づけ大事な収入源としているので、減価償却分相当の費用については伊丹市にもう少し負担していただけないか協議している。伊丹市がまだまだやる気な中、私たちは本場を預かる身として、冷静に様々な角度から備えをしておこうというスタンスである。

・大阪ではカジノ誘致の話も出ているが、そもそも外国人客は舟券を買えるのか。買える。観光客の誘致について旅行会社と協議したが、どうしても大阪中心部に近いことから住之江競艇が優先され、尼崎競艇を行程に加えることは難しいようだ。

(市長)ほとんどが電話投票で、本場でこれほど黒字が出せない時代というのは、本場を持っているものとしてはいろいろと考えていかなければならない状況だ。まちづくりにも大きく関わる部分であるので、多方面から考えていきたい。

### **3 障害者計画・障害福祉計画の改定に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について**

健康福祉局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長)市民アンケートは誰へ聞くのか。

障害者の方に聞く。

(市長)今回の改定で大幅に内容が変わることはないか。

全面改定のように大幅な改定はない。

以 上